



ただ恵

漂着物はどこから来たの？

わたしは、平塚の浜辺に何回か行ったことがありますが、海の環境についてはあまり考えたことがありませんでした。わたしたちは、まず平塚新港西側の浜辺でビーチコーミングを



ビーチコーミングとは、浜辺に打ち上げられたいろいろな物を拾って、それがどこから来たものかを考えるものです。わたしもほかの参加者と一緒いろいろな漂着物を拾いました。

何が落ちているかな？

みなで拾ってきた漂着物は、講師をしてくださった神奈川大学特任教授の浜口哲一先生の指示で、「海からきたもの」「川からきたもの」「野山からきたもの」「まちからきたもの」の4種類に分けられました。



浜辺にはいろいろなものが流れてくるんだよ



浜口先生は「海にあるごみはまちからきています。海とまちはつながっていて、海をきれいにするためにはまちもきれいにしなくてはなりません。海の環境のために何ができるかをみんなも考えてみてください」と言いました。ごみ捨て場のように多くのごみが見つかった浜辺を見て、ちょっと残念でしたが、わたしたちが、この浜辺をきれいにしていくように気を付けなくてははいけな

まもろう！

平塚の海を調べてわかったこと

夏といえば海。平塚にはみんなに自慢できるステキな海があります。平塚の海についてもっと知りたくなった多田さんと金子さんは、「夏休みこども環境教室・海編」に参加しました。

ひらつか 平塚ビーチ



見つけたよ、きれいな貝殻



江の島が見えてきた



かみこ 天柎

潮風に吹かれて、遊漁船出航

ビーチコーミングをした後に、遊漁船に乗って、相模湾を観察しました。参加者は二つの船に分かれ、わたしたちは



豊漁丸の船長・後藤宗一郎さんです

豊漁丸という

船に乗りました。平塚新港をスタートした船は、波浪等観測塔↓江の島↓烏帽子岩の順で相模湾を巡りました。同乗した浜口先生が、船の上で海の自然についていろいろな解説をしてくれました。



これが「海のゆりかご」

そうです。海に浮かんでいるものには、流れ藻のほかにベットのボトルなどのプラスチックもあります。プラスチックは丈夫で長持ち

海の上を飛ぶ鳥を見つけると、水線より上を飛んでいく鳥がウミネコで、水平線を出たり入ったりして波を揺くように飛ぶ鳥がオオミスナギドリだと教えてくれました。また、船を途中で止めて、海に浮

ちするので、わたしたちの生活には欠かせないものです。でも、自然の中で捨てられたプラスチックは、その丈夫な性質のために、いつまでも腐らずに自然を汚し続けてしまいます。そして、ウミガメのような動物

みんなへのメッセージ

今回の取材でわかった海の大切さ。自然を守るために、自分たちができることから始めていきたいと思います。



みんなへのメッセージ

わたしたちは海に浮かんでいるペットボトルを見て、ペットボトルは詰め替えて何度も使えるものなので、これ以上海を汚さないためにも、一人一人がマイペットボトルを作ったらいいのかな、と思いました。



大人になっても裸足で歩ける浜辺や貝がとれる海であり続けるように、一人一人がこみに責任を持ちましょう。